

2019年12月24日

各位

会社名  太陽ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 英志
(コード番号 4626 東証一部)
問合せ先 経営企画室長 笠置 晶
(TEL 03-5953-5200 (代表))

株式会社遺伝子治療研究所との資本業務提携に関するお知らせ

当社は、下記のとおり株式会社遺伝子治療研究所（以下、「遺伝子治療研究所」）と資本業務提携に関する基本合意書を締結しましたので、お知らせいたします。

記

1. 資本業務提携の目的及び理由

当社は、プリント配線板用部材事業に大きく依存する事業構造からの脱却を図り、「化学」というキーワードを軸に、総合化学企業へと飛躍するべく取り組んでおります。今後の成長が見込まれる分野として、エレクトロニクス（ソルダーレジスト含む）に加え、医療・医薬品、食糧、エネルギーの4つの分野での新規事業を創出し、医療・医薬品事業を第2の柱となる事業に成長させるべく様々な取組みを行っております。

当社医療・医薬品事業においては、子会社の太陽ファルマ株式会社が長期収載品を承継し、2018年4月より、医薬品製造販売業を行っております。また、2019年10月に第一三共プロファーマ株式会社の高槻工場を譲り受け、子会社の太陽ファルマテック株式会社にて医薬品製造業を開始いたしました。

遺伝子治療研究所は、AAV（アデノ随伴ウイルス）*1を、治療用遺伝子を運ぶベクター（細胞又は核内に他のDNAを運び込む核酸分子）として利用し、革新的な遺伝子治療薬の研究開発及び製造を行う企業です。遺伝子治療研究所との資本業務提携を通じて、遺伝子治療薬における製造設備及び製造技術に関する知見の獲得により、医療・医薬品事業の更なる成長を目指します。

2. 遺伝子治療研究所の概要

(2019年9月30日現在)

(1) 名称	株式会社遺伝子治療研究所
(2) 所在地	神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-22
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 浅井 克仁
(4) 事業内容	AAV(アデノ随伴ウイルス)をベクターとして利用した 遺伝子治療薬の開発及び製造
(5) 設立年月日	2014年5月16日

3. 日程

(1) 契約締結日	2019年12月24日
(2) 株式取得日	2019年12月24日

*1 AAV（アデノ随伴ウイルス）：遺伝子治療研究所の遺伝子治療では、治療遺伝子を神経細胞に導入するベクターとして AAV を使用します。AAV は、非病原性のウイルスに由来しており、染色体に組込まれる可能性も低いため安全性が高い上、遺伝子発現効率が高く、長期にわたって持続的に発現する（単回投与で効果が持続する）ため、患者への負担が少ないという特徴があります。

以上